

ピンチをチャンスに！！ “離れて つながる”

～新型コロナウイルス感染から考えること～

教育相談専門員 高橋 悦子

令和2年度はとても厳しいスタートとなりました。今、世界中がとてつもないピンチを迎えています。私は今までに、学校がこれほど長い休校になるなんて経験したことはありません。

それにしても、このコロナウイルスは、私たちになにを警告しているのだろうか。いくつか思い当たることや、考えさせられることもある。誰かが言っていた、このウイルスは「浄化ウイルス」だと。

人類は、物を生産・消費・廃棄して、また生産し・・・どんどん廃棄してきた。考えてみれば、地球にとっては、人間こそが有害なのかもしれない。皮肉にも、経済活動が停止している今、地球がきれいになっているという報告もあるそうだ。でも、私は今回、人間もまんざら捨てたものではないとコロナに反論したい。今、コロナの最前線で戦って私たちを守ってくれている医療関係の人々、これこそがマンパワーではないか。そして何処からともなく、だれからともなく、その人々へ感謝を称えて拍手を送る。これも素晴らしいマンパワーではないか。そして、そこから生まれた「ソーシャル・ディスタンス」という言葉・・・そう、社会的な距離であって、“こころの距離”ではない。つまり、マンパワーは離れても、つながっていると証明している。

そして、他にも誰かが言った、これは「民主主義対ウイルス」だという言葉が気にかかる。現代社会で私たちは、ほぼ自分の意志で自由に行動ができる。でも、今一度立ち止まって振り返ってみよう。「自分だけは大丈夫」とか「少しくらい大丈夫」などと、民主主義にあぐらをかいてはいなかっただろうか。恥ずかしながら私は、なかったとは言えない。今回、自粛によってかなり不自由な生活を強いられているが、これを機に真の民主主義を考える時かもしれない。さて、このたよりが届く時には、学校は再開しているだろうか。皆さんも、こんなに長く友達と会えなくて、離れてしまうかもしれないと心配しているかもしれませんね。でも、大丈夫…



“ は な れ て つ な が っ て い ま す ”

昨年度から引き続き、教育相談専門員として、毎週火、水、金の午後、教育相談室で勤務しております高橋悦子と申します。悩んだり、辛かったりしたときは一度教育相談室をのぞいてみてください。

☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が来校されます。「誰かに話を聞いてほしい」「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と6月の相談日》

● 高橋 悦子先生 (教育相談専門員)

毎週火曜日、水曜日、金曜日 12時30分～17時30分(第1週、12日(金)は除く)

● 堀 智哉先生 (臨床心理士)

8日(月)15日(月)19日(金)22日(月)29日(月) 19時～21時(8日のみ 17時～19時)

● 鷲見 栄子先生 (社会福祉士)

5日(金)12日(金)26日(金)、14時～16時

☆生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係(教育相談室:本館3階)、養護教諭(保健室:本館1階)の先生のいずれかに申し込んでください。

★保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。

お申し込みは、担任または教育相談係(牧田・松田・高宮)までお願いします。

電話番号は(058)275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。